

カウントダウンモニュメント除幕式を開催

IFCAA2012札幌開催実行委員会

「IFCAA2012 SAPPORO」開催100日前イベントとしてカウントダウンモニュメントの除幕式を3月12日、札幌市内で開催しました。このモニュメントは、IFCAA札幌開催に向けた機運を高めるとともに、東日本大震災1周年という節目にあたり、改めて市民に防火・防災について考えていただくことを目的にJR札幌駅南口広場に設置したものです。除幕式には、上田文雄札幌市長をはじめ、多くの消防関係者や市民が参加、また、ミスさっぽろと消防局のキャラクターリスキューによる街頭啓発を実施しました。



JR札幌駅南口広場に設置されたカウントダウンモニュメント

大規模地震を想定した実践的訓練を実施

鎌倉市消防本部

鎌倉市消防本部はこのほど、大規模地震を想定した実践的訓練を管内にある解体中の建物を借用し、更なる消防救助技術向上の確立を目的に実施しました。訓練では、東日本大震災を教訓に大規模災害現場で効果的な活動が行えるよう、人命検索活動から始め、倒壊建物からの救出訓練では、隊員進入路の確保のためコンクリートの破壊、鉄筋の切断を実施。救出スペースを確保し、瓦礫の倒壊に備え、安全に要救助者を救出するなど実践に必要な知識・技術の向上を図りました。



更なる消防救助技術向上の確立を目的に訓練を実施

消防通信 望楼 ぼうろう

老人保健施設で消火訓練を実施

豊橋市消防本部

豊橋市消防本部は2月24日、春季全国火災予防運動に併せ、市内の老人保健施設で災害発生時の消防活動及び施設職員との協力体制を確立することを目的とした訓練を実施しました。訓練は施設内の厨房から出火し、職員が逃げ遅れて屋上で助けを求めているという想定のもと、施設職員による発見・通報・初期消火及び利用者の避難誘導、また、はしご車を使用した救出訓練等を行いました。高齢者が多数入所する施設では、避難誘導が非常に重要である旨を施設職員に実感していただき、周知することができました。



屋上に取り残された救助者をはしご車で救助する消防隊

救急技術効果確認訓練を実施

丸亀市消防本部

丸亀市消防本部北消防署は1月31日と2月1日の2日間、北消防署の救急救命士を対象に消防本部庁舎で救急技術効果確認訓練を実施しました。この訓練は、日頃の救急訓練教育の成果を確認するため、本署6隊の救急隊がそれぞれ内因性（胸痛・脳卒中）及び外因性（交通外傷）の救急事案を想定し、高度訓練人形を使い気管挿管、輸液及び薬剤投与など、県MCプロトコルに準じた救急救命処置を行い、搬送実施基準に沿った病院収容までの一連の救急活動を評価・確認しました。



高エネルギー外傷（全脊柱固定）の処置を行う救急隊員

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】